

姪北 咲きました ～誕生までの道のりとこれから～

産みの苦しみ —オギャー—

平成22年4月に姪北校区自治協議会が誕生しましたが、それまでの道のりは平坦ではありませんでした。

平成19年度に姪浜校区と内浜校区から分かれて姪北小学校が開校されましたが、地域活動の拠点となる公民館の開館は平成22年度にずれ込むことになりました。自治協議会の誕生も同じ時を目指すことにし、21年度に設立準備に入ったのですが、意見等がまとまるまでに自治協議会関係だけで10回以上、自治連合会等各種団体を含めると数十回の協議を重ねました。

自治組織は、形ではなく生き物であり、まして姪浜・内浜校区というDNAが異なる2つの組織を3つに分けるという希なケースで、かなりの難産でした。

それでも、両校区の壁を乗り越え、新しい命を造ろうという住民の意識は非常に強く、最後は全員の総意でまとめることができ、福岡市で146番目の自治協議会として誕生に至った幸いです。



西区姪北校区自治協議会



ひとり歩き —ヨチヨチ—

本自治協議会の最初の事業は、平成22年6月の姪北公民館の落成式・祝賀会でした。協議会が設立されたとはいえ、それまでは、今まで培ってきた両校区の経験が壁になることもありましたが、この行事を1つの起点として、姪北校区という1つの個性をもった生き物としての1歩を踏み出せたと確信出来ました。

今年度は、組織作りを最重点にしていますが、親善壮年ソフトボール大会、親善三世交流体力づくり大会、子ども会文化発表会と住民参加型の事業も少しずつですが実施できるようになりました。今後、自主防災訓練、福祉餅つき、新春のつどいなど校区をあげて取り組んでいきます。

大人への階段 —シャキーン—

現在、本校区では自治協だよりや公民館だよりで、地域のめざす姿となる言葉や校区ロゴマークなどを募集し、しっかりとした方向性を住民全員で共有する方向に向かっていきます。SMAPの歌ではありませんが、ナンバーワンよりオンリーワンを目指し、みんなの力でやっと咲いた姪北という小さな花を、世界でひとつだけの花に育てていきたいと思っています。



“住民みんなで作るホームページ!” ～明るく住みよい活力ある校区を目指して～

自治協議会でホームページは作ったけれども、情報の内容が…。そんな悩みをお持ちのところが多いのではありませんか。同じ悩みから、ちょっと工夫してみた校区のホームページを紹介します。

自治協議会の規約や役員、町内会長の名簿といった基本情報だけでは1年に1回の更新だけになってしまうので、運用にいくつかの工夫を加えてみました。

まず、香椎校区を中心とした地域情報をできるだけ多く提供するために、東区役所ホームページの地域情報にリンクを貼って、閲覧者が香椎のマップとして活用できる総合的な情報を得られるようにしました。

また、「地元再発見」と銘打って、校区の昔の写真提供の呼びかけや住民の方が直接書き込める

掲示板を設けるなど、住民みんなで作るホームページを目指しています。

自治協議会や各種団体が行う校区行事については、広報担当者が開設しているホームページ「香椎タウンストーリー」とのリンクで、常に最新の情報を届けられるようにしています。ここでは、広報担当者が撮った写真だけでなく校区住民の方から提供を受けた写真も掲載しています。



このような活動を通じて、住民が我が街を再発見し、さらに愛着のもてる校区づくりを進めていきたいです。

「美野島灯明納涼祭で住民交流」 ～灯りではぐくむ 地域の絆～

美野島校区では、8月28日に9回目の灯明納涼祭を開催し、多数の参加者で賑わいました。灯明は、地域住民、小中学校、保育園及び企業の協力で作られたものです。

中学生は自ら企画した作品テーマ「SMILE」を、炎天下の中、汗だくだくになりながら並べました。夕暮れに橋の上から見る自分たちの輝く灯明作品は感無量であったようです。小学生と保育園児は灯明袋に自由な絵を描き、灯りがともった自分の灯明を見つけては、「ヤッター！」と喜びを表していました。



今回で2回目となる「アート灯明コンテスト」では、地域内外の方や企業から出された作品が那珂川の川面を鮮やかに彩りました。誰でも参加できる納涼踊りで会場はより一層賑やかになり、地域のサークルが中心に出店したバザーも大いに盛り上げてくれました。

地域住民の交流の場として絆を深め、大人と子どもが触れあうことを目的としたこの祭りが、ふるさと故郷の祭りとして子どもたちの記憶に残る一日になればと、メンバーの思いは既に来年の灯明納涼祭に向けられています。

早良校区環境女性サミット実行委員会 ～女性の視点から環境を考える～



21世紀は「環境」の時代と言われています。

平成19年度で環境推進委員制度が廃止となり、環境対策が校区主体の事業へと移行されました。そのため早良校区自治協議会では、構成団体の環境衛生連合会が、平成16年度に「環境問題とごみ4分別の体験発表会」を開催した実績を生かし、地球環境を中心とした奥深い環境問題に関する取り組みを主体的に行っています。

家庭における生活環境の主導権は女性が持っていることが多いことから、環境衛生連合会の呼びかけにより、校区の女性の有志10名が「早良校区環境サミット実行委員会」を発起・設立し、年3回の定例実行委員会を開催されています。

平成20年度は「環境について」をテーマにパネルディスカッションを行い、68名の参加がありました。

また、平成21、22年度には「エコ&フリーマーケット」を開催し、多くの住民が参加し大盛況となりました。また、今年度は三潞郡大木町にある「リサイクルセンター」で校区外研修を実施したところ、26名の女性の参加があり、大変有意義な研修となりました。

平成20年度からの3年間の取り組みで、環境美化・ごみ減量リサイクルに対する住民の認識が向上したことから、来年度からは現在の4分別から7分別へ拡大するなど積極的に取り組む予定です。



URL 一覧

○校区や地域の情報を、福岡市のホームページの各区役所のページに掲載しています。

- 東区(東区>地域情報[校区・公民館]) <http://www.city.fukuoka.lg.jp/higashi/hi-chiikijouhou/ichiran.html>
- 博多区(博多区>生活情報>コミュニティ・地域の活動・公民館)
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/hakata/ha-seikatsujouhou/comm-chiikikatsudou-kouminkan.html>
- 中央区(中央区>中央区の魅力・観光情報>校区・地域の情報)
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/chuo/miryoku-kanko-kankoujouhou/kouku-chiikijouhou.html>
- 南区(南区>南区の魅力・イベント>校区の魅力) <http://www.city.fukuoka.lg.jp/minami/mi-miryoku-event/koukunomiryoku.html>
- 城南区(城南区>地域・公民館) <http://www.city.fukuoka.lg.jp/jonan/chiiki-kouminkan/index.html>
- 早良区(早良区>早良区の魅力>校区・地域の情報) <http://www.city.fukuoka.lg.jp/sawara/sa-miryoku-event/kouku-chiikijouhou.html>
- 西区(西区>生活情報>地域コミュニティ・公民館情報)
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/nishi/ni-seikatsujouhou/comm-kouminkanjouhou.html>
- J:COM福岡で放送した地域活動などは、J:COM福岡のホームページでご覧になれます。 <http://www.jcomfukuoka.com/tv/weekly/>
- 福岡市コミュニティ通信は、福岡市のホームページに掲載しています。 http://www.city.fukuoka.lg.jp/shimin/community/life/001_2.html
(生活情報>コミュニティ・地域の活動・NPO・ボランティア>コミュニティ・地域の活動>福岡市コミュニティ通信)

お問い合わせ・地域の情報などはこちらまで



- 東区役所地域支援課
TEL 645-1041 FAX 645-1042
- 博多区役所地域支援課
TEL 419-1048 FAX 452-6735

- 中央区役所地域振興・支援課
TEL 718-1060 FAX 714-2141
- 南区役所地域支援課
TEL 559-5072 FAX 561-5360

- 城南区役所地域支援課
TEL 833-4061 FAX 822-2142
- 早良区役所地域支援課
TEL 833-4416 FAX 851-2680
- 西区役所地域支援課
TEL 895-7036 FAX 882-2137

中央区南当仁校区

南当仁校区自治協議会

谷口 太一会長



- ①東は菰川と大濠公園、西は樋井川、北は博多湾という水辺に囲まれ、福岡都市高速道路1号線、よかトピア通り、明治通り、城南線などの大きな道路が東西に横切っています。地行浜の福岡ヤフードームや市保健環境研究所、福岡气象台、福岡武道館などの施設や、アメリカ、中国、韓国の各領事館がある新しい街と、寺社仏閣の多い歴史・文化に恵まれた街を合わせ持つ約8000世帯の校区です。
- ②“活力あるまちをめざして”をスローガンに、公民館と密接に連携しながら、夏祭り・体育祭・敬老会などの校区行事を行っています。毎月1回、自治協役員、代表町内会長および各種団体部長の16名で組織した審議委員会で議論しながら校区の活性化を図っています。また、1100名を超える75歳以上の高齢者を対象とした校区敬老会は、町内会長が名簿を作り、一人ずつ訪問して案内しています。
- ③構成団体の各部が事業の共催や交流を通じて、コミュニケーションを大切にしてもらいたいと思います。また、若い人たちの意見を聞きながら、一緒に校区の活性化に取り組んでいけたらと思います。

南区花畑校区

花畑校区自治協議会

才田 誠会長



- ①当校区は、道路整備がなされないまま田畑が宅地化され、その後の人口増加に伴い校区の分割が行われ、現在、世帯数約3800世帯、人口約9800人の7町内会で構成しています。校区内には、障がい者が通う通所施設の作業所が複数あります。また、30年以上の住宅地が多いことから、今後は高齢化が進んでいくことが予想されます。
- ②校区の特徴から「安全で安心に暮らせる校区作り」をモットーとして、自治協議会、各種団体、公民館等と連携し、校区体育祭、ふれあいまつり、新春ウォーキング等を通して、校区住民の相互のコミュニケーション作りを行っています。その他、各種団体が独自に事業を計画し、団体相互に連携して活動を行っています。
- ③校区自治協議会が発足して約7年。協議会の事業計画や予算執行等については、各種団体、公民館等と連携して行っていますが、見直しが必要などころは見直し、より一層「安全で安心して暮らせる校区作り」を目指していきたいと思っています。

南区玉川校区

玉川校区自治協議会

釜堀 博会長



- ①当校区は、西日本鉄道と県道600号線及び国道385号線が校区の真中を走り、都心まで僅かな時間で行けることから、南区内では生活する上で極めて便利な所に位置していると言えます。現在、人口は1万5千人を超えました。しかし、昔は長閑な田園地帯であったこの場所が、住環境の大きな変化によって、最近では色々な問題を抱えるようになりました。
- ②平成16年度に、活力あるまちづくりを目指し、15団体を共働体として発足しました。スポーツ、福祉活動、健康づくり、子ども活動などの活動はもとより、特色として学校との連携による体験学習指導を学年毎に定期的に行っています。毎年実施している夏祭りは、地域住民からの評判が良いです。
- ③地理的な利便性が高いことから、単身用マンションや1、2階の下層部分が店舗や事務所で上層部分が住居のビルが増え、自治に対する無関心層が多くなった事が悩みの種です。今後は、住民に対する地域への参加啓発を、機会あるごとに行っていくつもりです。

城南区堤地区

堤地区自治協議会

山口 繁実会長



- ①当地区は、城南区の中で最も面積が大きな地域です。四季折々の緑豊かな油山の麓に位置する住宅街で、堤小学校区に17町、南区の西長住小学校区に3町が通学する複雑な地域です。
- ②今年で24回目を迎えた運動会は、老若男女2千人が参加し、昼には各町が用意した弁当を、選手や応援者が一緒に食べながら親睦をはかっています。また、今年で27回目を迎えた「油山クリーンアップ作戦」には、毎年400名もの住民が参加し、ゴミを拾いながら「市民の森」まで登ります。
- ③1戸建ての家が多く高齢化が進んでいるため、認知症に強い町を目指しています。特に「安心カード注」の普及促進を図り、安全・安心で明るい住みよい町、一人でも安心して暮らせる温もりのある町づくりを目指します。

注)安心カード:氏名、血液型、かかりつけの病院、病歴、緊急連絡先を記入したカードを容器に入れて冷蔵庫に保管し、救急隊員が迅速な救命活動ができるようにする物。